

○ 本校の概要

本校は大田区の最東南端に位置する羽田と東靴谷の2つの地域を校区に抱え、通常学級6学級と特別支援学級1学級の生徒186名が通学している。どちらの地域も町会、自治会のまとまりが強く、生徒は地域行事への参加や協力を通して、郷土愛を深め自尊感情を高めている。学校経営の基本方針は「豊かな心と主体性を育む教育の推進」「学力向上・体力向上のための取組の推進」「地域と共に子どもを育てる教育の推進」の三本柱であり、外部の人材を積極的に活用し、基礎学力の向上や体力運動能力の向上に向けての取組を推進している。学習面や生活面の課題も多いが、校区の小学校と連携し、改善に向けての努力をしている。特別支援学級は持久走と和楽器の演奏に力を入れ、生徒を積極的に校外に出すことにより、自信をつけさせている。校長の掲げるスローガン「一人一人が自分の夢を実現させるために日々努力し続けていける学校」のもと、教職員、保護者、地域が連携し、生徒の「豊かな心」「あきらめずに努力する姿勢」「他と協調し最善をつくす実践力」を伸ばす取組を推進している。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄
						コメント
プラン1 未来社会を創造的に生きる子供の育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にシなやかに対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とコミュニケーション能力の育成等を図っている。	A 保護者アンケートで「将来のために必要な力を育てている」と回答した保護者の割合 B 生徒アンケートで「どのような生徒を育てたいか知っている」と回答した生徒の割合	4: A 80%以上 B 70%以上		
		論理的、科学的な思考力の育成を目指し、「おおたのものづくり」を生かした体験活動や理数授業等を実施する。		3: A 60%以上 B 50%以上		
		学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。		2: A 40%以上 B 30%以上		
		他者の人権を尊重する人権教育の推進を目指し、人権教育資料等を活用した授業を実施する。		1: A 40%未満 B 30%未満		
		体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。				
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。	A 保護者アンケートで「チームティーチング、少人数指導、補習教室などを実施し、生徒一人ひとりの学力を伸ばしようとしていた」と回答した保護者の割合 B 生徒アンケートで「チームティーチング、少人数指導、補習教室などの取り組みは、生徒の学力を伸ばすために役にたっている」と回答した生徒の割合	4: A 80%以上 B 80%以上		
		算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。		3: A 60%以上 B 60%以上		
		学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。		2: A 40%以上 B 40%以上		
		授業改善推進プランを、授業に生かす。		1: A 40%未満 B 40%未満		
		文章力、表現力等を高めるために、新聞教育(NIE、新聞作り)を取り入れた指導を実施する。				
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、自他の生命を尊重する心を育成するなど、未来への希望に満ちた豊かな心をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。	A 保護者アンケートで「いじめや不登校の課題に、きちんと対応していた」と回答した保護者の割合 B 不登校生徒の割合	4: A 80%以上 B 1%低下		
		道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。		3: A 60%以上 B 0.5%低下		
		学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。		2: A 40%以上 B 同程度		
		学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。		1: A 40%未満 B 0.5%以上 上昇		
		問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。				
デイリーライフ(生活ノート)の点検や休み時間・空き時間に生徒を見守り、生徒がいつでも相談できる環境をつくる。						
プラン4 体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による体力の向上など、生涯にわたって健康増進を図る意識の向上をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。	A 生徒アンケートで「健康な生活を送るための指導をしている」と回答した生徒の割合 B 保護者アンケートで「元気に登校し、楽しい学校生活を送っていた」と回答した保護者の割合	4: A 90%以上 B 80%以上		
		給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。		3: A 70%以上 B 60%以上		
		体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。		2: A 50%以上 B 40%以上		
				1: A 50%未満 B 40%未満		

<p>プラン5 魅力ある教育環境づくり</p>	<p>児童・生徒が安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境をつくりまします。</p>	<p>授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。</p> <p>授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。</p> <p>各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。</p> <p>校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。</p> <p>授業規律と教室内外の環境整備を徹底し、誰もが落ち着いて学習に取り組める環境づくりを進める。</p>	<p>A 生徒アンケートで「授業をわかりやすくするために、様々な工夫をしている」と回答した生徒の割合</p> <p>B 保護者アンケートで「わかりやすい授業を実施するために、様々な工夫をしていた」と回答した保護者の割合</p>	<p>4: A 80% 以上 B 90% 以上</p> <p>3: A 60% 以上 B 70% 以上</p> <p>2: A 40% 以上 B 50% 以上</p> <p>1: A 40% 未満 B 50% 未満</p>		
<p>プラン6 学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、地域に開かれた教育の実現を目指します。また、相互の連携を深め、子どもを育てる仕組みを作ります。</p>	<p>教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。</p> <p>地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。</p> <p>学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。</p> <p>小中一貫「生活指導スタンダード」「学習指導スタンダード」を保護者に周知し、校区の小学校と連携・一貫した指導を行う。</p> <p>地域の行事やボランティア活動への参加を促し、生徒に地域社会の一員としての自覚を深めさせる。</p>	<p>A 保護者アンケートで「開かれた学校づくりをしていた」と回答した保護者の割合</p> <p>B 生徒アンケートで「ボランティアで地域の行事などに意欲的に参加している」と回答した保護者の割合</p>	<p>4: A 90% 以上 B 70% 以上</p> <p>3: A 70% 以上 B 50% 以上</p> <p>2: A 50% 以上 B 30% 以上</p> <p>1: A 50% 未満 B 30% 未満</p>			

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能で